



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

			3月23日	3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1320	3.1400	3.2010	3.1830	<b>3.2490</b>	+0.0660
	BRL/JPY	Spot	38.21	38.17	37.36	37.42	<b>36.67</b>	-0.75
	EUR/USD	Spot	1.0947	1.0923	1.0970	1.0876	<b>1.0888</b>	+0.0012
	USD/JPY	Spot	119.72	119.74	119.49	119.19	<b>119.15</b>	-0.04
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.42	13.40	13.18	13.38	<b>13.41</b>	+0.0311
	Future	1Year(p.a.)	13.61	13.59	13.57	13.59	<b>13.63</b>	+0.0484
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.294	2.267	2.335	2.379	<b>2.247</b>	-0.132
USD		1Year(p.a.)	3.022	2.956	2.997	3.058	<b>2.937</b>	-0.121
株式	Bovespa指数		51,908.46	51,506.07	51,858.30	50,579.85	<b>50,094.66</b>	-485.19
CDS	CDS Brazil 5y		287.96	279.86	288.00	288.42	<b>290.28</b>	+1.85
商品	CRB指数		215.755	215.531	217.157	219.489	<b>215.163</b>	-4.326

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のドルレアルは3.2290で寄り付いた。週初は先週末のFOMCで従来よりリハト派的な内容が示されたことを受けて、昨今のドル高に調整が入った。レアルは週間高値となる3.0930をつけたが、ドル売り一巡後は上値の重い展開となった。中銀によるアナリスト予想調査では2015年のGDP予想が-0.83%まで引き下げられた。一方で2015年末のインフレ率予想は8.12%まで引き上げられ、伯経済に対する見方が更に弱まっていることが示された。
- トンビニ伯中銀総裁が上院委員会で発言し、為替介入プログラムについて、規模の縮小を急がないとの見解を示したが、プログラムの期間延長を明言せず、現在の為替水準についても懸念を示さなかったことから、市場参加者の失望を買い、レアルは反落した。
- 週央には伯中銀から、為替介入プログラムが3月末を持って終了することが発表されたが、同時に既存ポジションのローラオーバーは続けて行くことが示されたため、マーケットには大きな混乱はなかった。中銀は3月から介入ポジションを増やしておらず、現状から変化はないと捉えられた模様。その後、強い米経済指標を受けてドルの買い戻しが見られ、レアルは3.20近辺まで下落した。
- 週末にはブラジルの2014年第4四半期のGDP発表され、予想に反してプラス成長となった。14年通期では0.1%の成長となり、市場予想の0%を上回った。しかし、マーケットの反応は鈍くレアル買いの動きは殆ど見られなかった。軟調な株式や原油価格を背景にレアルはジリ安となり、週間安値となる3.2490で越週した。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



## ブラジル2014年経済成長率は0.1%に

2014年第4四半期のGDP成長率はマイナス予想に反して前期比0.3%のプラス成長となった。家計消費が1.1%増となり全体を支えた。政府支出や貿易は前期比マイナスに転じた。

2014年通年では0.1%となり、マーケットコンセンサスのゼロ成長予想を上回った。今後の見通しに関して、中銀によるアナリスト予想調査では2015年の成長率予想は-0.83%、2016年は1.2%となっている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しております。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.50

来週は31日にレヴィ財務大臣が上院の経済委員会でスピーチを行い、地方政府の連邦政府に対する債務再編について議論し、同日に債務再編の可否についての投票が行われる。債務再編が可決されれば政府財政収支の悪化に繋がりレアル売られよう。3日はグッドフライデーで米、伯共に休日となるが、3月の米雇用統計が発表される。前日までにポジションを縮小する動きが予想され、レアルの買戻しが入る可能性があり注意が必要である。現在のマーケットコンセンサスはNFPが前月比248千人の増加、失業率は5.5%で前月横這いの予想となっている。予想を大きく上回った前月には及ばないが、引き続き米雇用に対する見通しは強い。米経済が急に減速する可能性は低く、米伯のファンダメンタルズ格差からレアルは引き続き下値模索の展開を予想する。

**Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A**  
Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	GDP(前期比)	-0.1%	0.3%	0.2%
ブラジル	GDP(前年比)	-0.7%	-0.2%	-0.6%
米	GDP(年率/前期比)	2.4%	2.2%	2.2%
米	個人消費	4.4%	4.4%	4.2%
米	ミシガン大消費者信頼感	92.0	93.0	91.2

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	3/30	FGVインフレIGPM(前月比)	Mar	0.93%	0.27%
ブラジル	3/30	中央政府財政収支	Feb	-1.9B	10.4B
ブラジル	3/31	基礎的財政収支	Feb	1.5B	21.1B
ブラジル	4/1	FGV CPI IPC-S	Mar-31	1.44%	1.47%
ブラジル	4/1	鉱工業生産(前年比)	Feb	-10.1%	-5.2%
ブラジル	4/1	HSBCブラジル製造業PMI	Mar	--	49.6
ブラジル	4/1	貿易収支(月次)	Mar	-\$390M	-\$2842M
ブラジル	4/1	CNI設備稼働率(季調済)	Feb	--	81.5%
ブラジル	4/1	商品価格指数(前年比)	Mar	--	-0.71%
米	4/1	ISM製造業景況指数	Mar	52.5	52.9
ブラジル	4/2	FIPE消費者物価指数(月次)	Mar	0.63%	1.22%
ブラジル	4/3	HSBCブラジルサービス業PMI	Mar	--	52.3
ブラジル	4/3	HSBCブラジルコンポジットPMI	Mar	--	51.3
米	4/3	非農業部門雇用者数	Mar	248K	295K
米	4/3	失業率	Mar	5.5%	5.5%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。